「日本成長戦略実行計画」に盛り込む主な事項（案）

※今後の議論・検討を踏まえて項目の加除や内容のブラッシュアップを行っていく。

資料２

○「日本成長戦略実行計画」には、①戦略17分野・62の主要な製品・技術等に関する今後５年間（集中投資期間）の国内投資の内容と投資額（投資事業計画）、②8つの分野横断的課題に対する対応策（総合支援策）、③戦略17分野と8つの分野横断的課題への対応のうち主要な政策（国内民間投資や潜在成長率の引き上げの効果が高いもの）について、「強く豊かな日本投資枠」を活用した複数年度にわたる予算事業、などを盛り込む。

○戦略17分野・62の主要な製品・技術等については、①「足元の収益源」、②「今後の稼ぎ頭」、③「経済安全保障の強化」に大きく分類して示すこととし、その上で、特に、2040年度までの経済波及効果や経済安全保障の観点での波及効果（産業全体に影響が生じるもの）が大きいものなどを「重点項目」として、重点的に検討する（今後の議論・検討を踏まえ追加等もあり得る）。

◆戦略17分野　　★は重点項目

（1）足元の収益源

★フィジカル・インテリジェント・システムの中核を担う半導体
★バーティカルAI
★クラウド・データセンター、蓄電池
★デュアルユース技術
★ファーストインクラス製品・ベストインクラス製品、バイオ医薬品・再生医療等製品等
★革新的デバイスを活用した先端医療
★ゲーム、アニメ等のコンテンツ分野
AI等を活用した複合新素材
ﾗｲﾌﾛｸﾞﾃﾞｰﾀ等を活用したﾍﾙｽｹｱ関連ｻｰﾋﾞｽ
洋上風力
GXケミカル
防災技術

（2）今後の稼ぎ頭

★フィジカルAI
★自動運転技術
★オール光ネットワーク
★次世代ワイヤレス
★量子コンピューティング等の量子分野
★次世代型太陽電池
★植物工場、陸上養殖等のフードテック分野
民間航空機
空飛ぶクルマ
バイオものづくり
水素等
グリーン鉄
次世代型地熱
次世代革新炉
フュージョンエネルギー

（3）経済安全保障の強化

★次世代船舶等の造船分野
★マテリアル（一次・二次原料からの精錬・分離精製、解体選別技術）
海底ケーブル
無人航空機
ロケット・射場
人工衛星・サービス
月面探査・低軌道技術
海洋無人機(海洋ﾄﾞﾛｰﾝ)・海洋状況把握(MDA)
革新的海底開発技術・システム
感染症対応製品
港湾荷役機械等の港湾ロジスティクス分野

（4）その他

ｾｷｭﾘﾃｨの確保された政府・地方公共団体のAX/DX基盤
ｸﾗｳﾄﾞﾈｲﾃｨﾌﾞに最適化された医療DX基盤

※3分類については、各分類に重複するものもあるが、分かりやすさの観点から大別しており、一定の幅をもったものとして考える必要がある。

◆8つの分野横断的課題

（1）新技術立国・競争力強化　（2）スタートアップ　（3）金融を通じた潜在力の解放　（4）人材育成
（5）労働市場改革　（6）家事等の負担軽減　（7）賃上げ環境整備　（8）サイバーセキュリティ

◆足元の4つの課題

（1）建設供給力不足への対応　（2）資金供給力への対応　（3）電力インフラへの対応　（4）AI戦略・AI社会実装に向けた対応